

A02-7

高密度共役状態を生み出すイオン性開殻分子システム的设计と創製

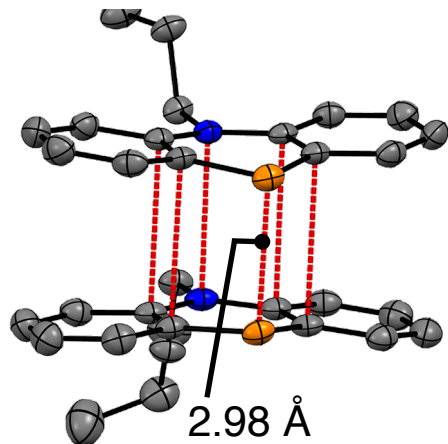
研究代表者：鈴木 修一 (大阪大)

A02班のミッション：分子間相互作用の最大化により高密度共役を固定化する

A02-7の狙い

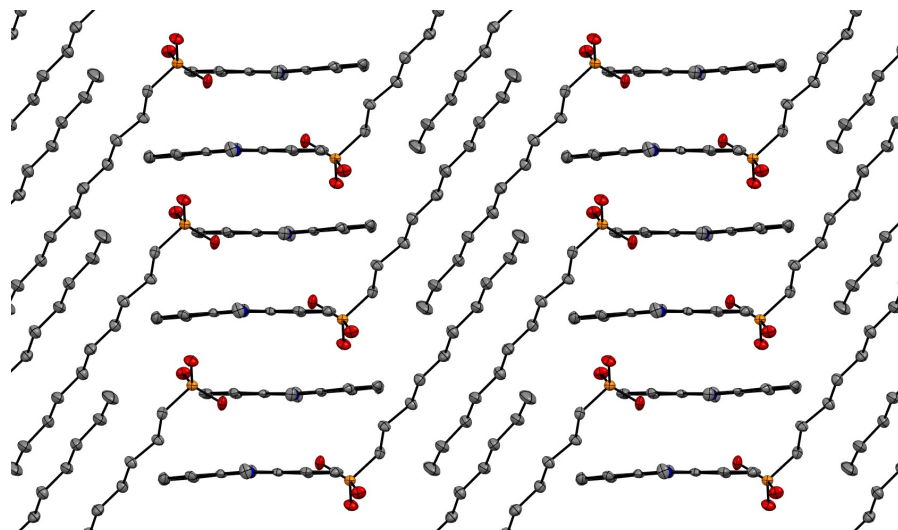
- 極限状態でも安定なイオン性開殻分子の設計と合成
- イオン性開殻分子における種々の相互作用を利用した高密度化

静電相互作用・不対電子間相互作用・カルコゲン接触によるラジカルカチオン間空隙の極小化



イオン性開殻分子の近接πダイマー構造

空气中高温でも分解しないイオン性開殻分子



様々な相互作用によるイオン性開殻分子の集積化